

記者発表資料

平成 25 年 11 月 29 日
国土交通省
佐伯河川国道事務所
延岡河川国道事務所

東九州道(蒲江IC^{かまえ}～延岡JCT^{のべおか}間)の 部分開通による整備効果について

国土交通省九州地方整備局が整備を行っている東九州道のうち平成 25 年 2 月に開通した蒲江^{かまえ}～北浦間^{きたうら}、平成 24 年 12 月開通の須美江^{すみえ}～延岡^{のべおか}JCT間の開通後の整備効果についてお知らせします。

【開通後の主な整備効果】佐伯・延岡地域の方々に聞きました。

○観光への支援

県境を越えた交流が活発になっており、**観光客が約 5 割増加!** しています。

○防災への支援

大規模地震の津波による佐伯・延岡地域住民の**命の道として期待!** されています。

○救急医療への支援

安静搬送が可能となり、**救急搬送患者の負担が軽減!** されます。

○生活への支援

開通区間における地域の方の道路に対する**満足度が向上!** しました。

【その他参考：東九州道整備効果】

- ① 東九州道開通が地域観光の振興に貢献しています。
- ② 高速道路を活かした産業・物流拠点形成に大きく貢献! しています。

※なお、継続的な調査を行い、開通による効果について、引き続き、お知らせする予定です。

お問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省 九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

Tel : 0972-22-1880

副所長(道路) 浅井 博海 (内線 205)
調査第二課長 次郎丸 敬太(内線 451)

国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所

Tel : 0982-31-1155

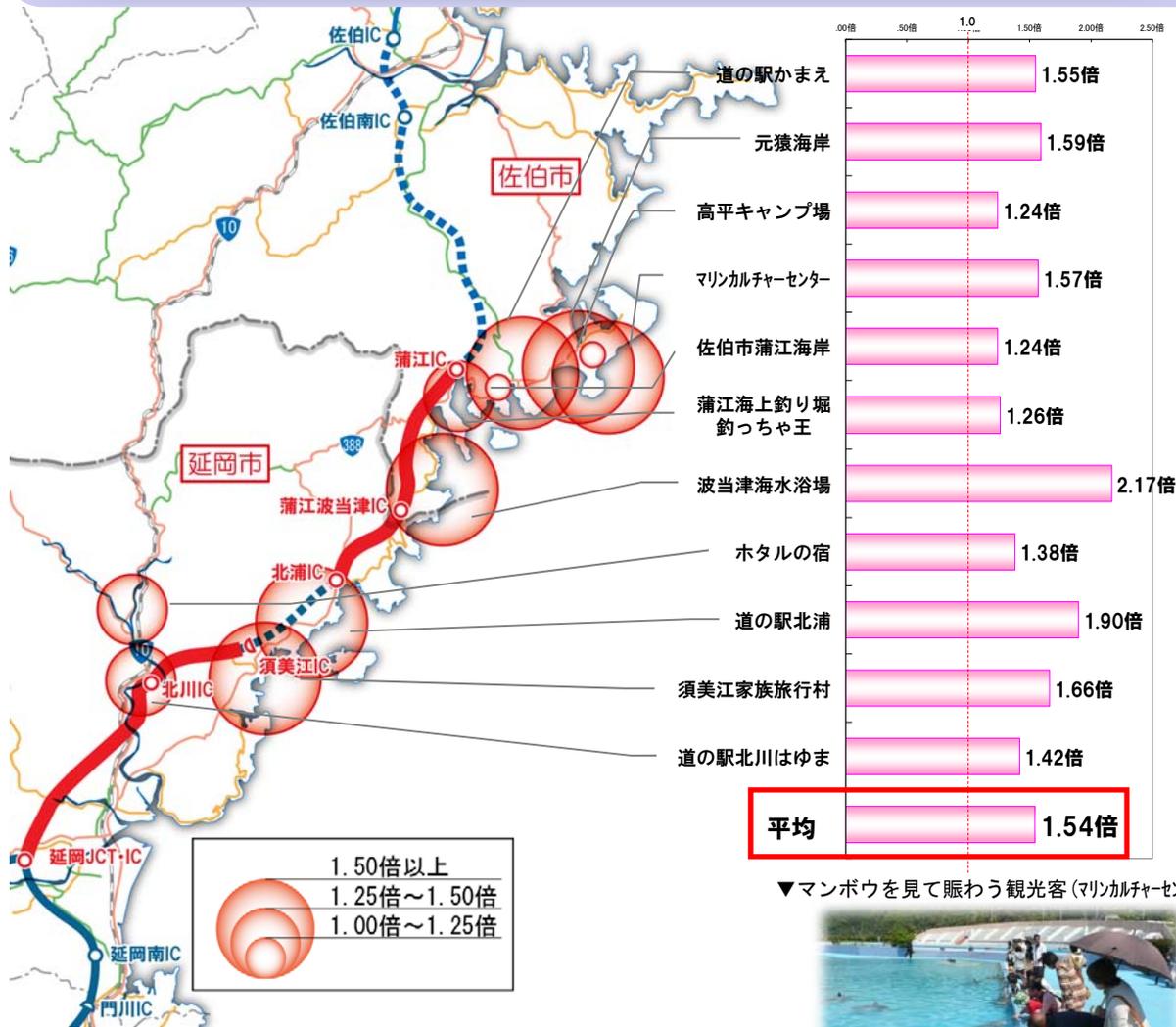
副所長(道路) 中川 英一 (内線 205)
調査第二課長 渡邊 賢一 (内線 451)

観光への支援

県境を越えた交流が活発になっており、**観光客が約5割増加！**しています。

- 東九州道の開通により地域の主要な観光施設の入込み客数が平均して約5割増加しています。
- 道の駅では隣県ナンバーが多くみられるなど、県境を越えた広域的な交流が活発化しています。

沿線の観光施設の入込み客が大幅に増加！



▲主要観光施設の入込み客数の伸び率 (東九州道開通前後)

出典: 大分県観光統計調査、延岡市商工観光課提供データ
 佐伯市側 開通前: H24.4~6月 開通後: H25.4~6月 (波当津海岸は8月の海水浴客の結果)
 延岡市側 開通前: H24.GW 開通後: H25.GW

県境を越えた広域的な交流が活性化

地域住民の声

- 延岡方面への観光が便利になった。(佐伯市蒲江町 男性)
- 波当津方面へ40年ぶりに行くことができました。嬉しかった。(佐伯市蒲江町 女性)
- 大分方面、宮崎方面へのレジャーが増えた。(延岡市北浦町 男性)

道の駅「かまえ」 店長

県外からのお客さんが増え、特に延岡や日南方面からたくさん来られているようだった。未供用区間の早い開通を期待しています。

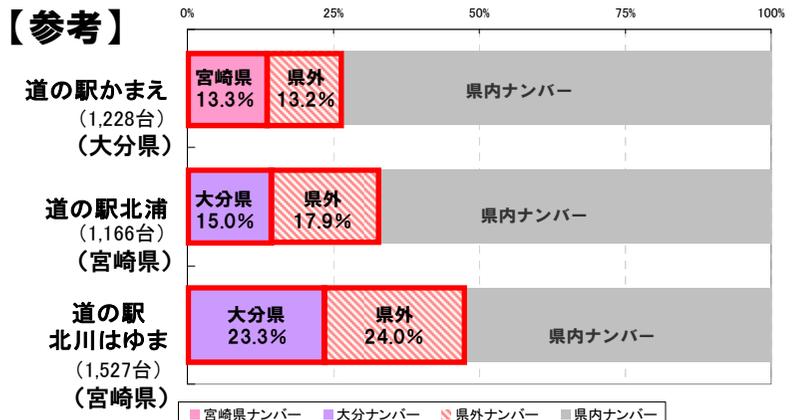
道の駅「北浦」 支配人

特にゴールデンウィークは、今までにないお客様の多さで、交通整理をしなければならないほど盛況だった。東九州道が開通したことの影響が大きいと思う。

道の駅「北川はゆま」 支配人

東九州道が開通したことにより、利便性が向上し、遠方からのお客様が増加した。お客様の利便性をより向上させるためにも、未供用区間の早期整備をお願いしたい。

【参考】



▲道の駅ナンバプレート調査 (H25.8.10土曜日) ※ () 内は対象車両台数

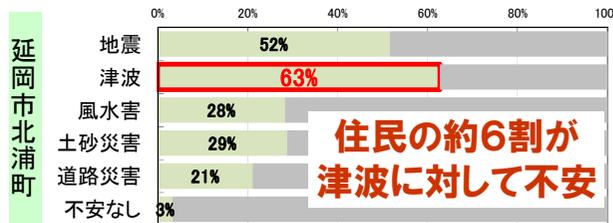
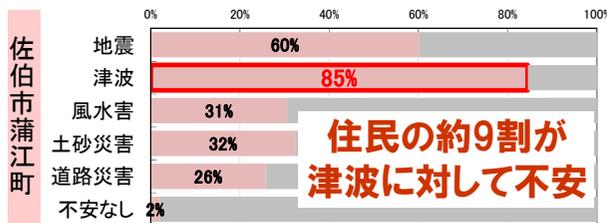
防災への支援

大規模地震の津波による佐伯・延岡地域住民の**命の道として期待！**されています。(防災面での不安解消)

- 佐伯・延岡地域は南海トラフ地震による津波浸水被害が想定されており、**佐伯市蒲江の住民の約9割、延岡市北浦町の住民の約6割の方が不安を抱いていました。**
- 東九州道においても、津波などの緊急時に備え、**緊急連絡路や避難階段を設置し、地域住民の安全・安心を確保することで命の道として期待**されています。
- 今回の東九州道の開通により、**約4～5割の住民の津波に対する不安が改善**しました。

■開通前は津波への不安が高い

Q: お住いの地域でどのような災害に対して不安がありましたか？

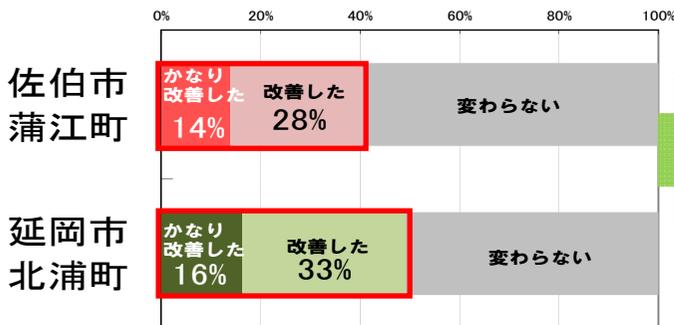


▲住民アンケート調査結果(H25.8.14～8.30) 有効回答数: 蒲江497世帯、北浦432世帯(複数回答可)

■開通により不安が解消した方が約4割！

Q: 津波が不安な方にお尋ねします。不安は改善しましたか？

津波の不安が改善した方が約4～5割

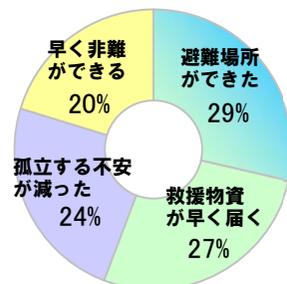


▲住民アンケート調査結果(H25.8.14～8.30) 有効回答数: 蒲江388世帯、北浦252世帯

災害への備えができ、不安が改善！

Q: 改善した方にお尋ねします。不安が改善された理由は何？

- 災害時には東九州道は特に有効だと思います。(佐伯市蒲江町 男性)
- これまでは国道10号しかなく、大きな災害時は不便だった。(延岡市北川町 女性)



▲住民アンケート調査結果(H25.8.14～8.30) 有効回答数: 385世帯(複数回答可) (蒲江、北浦の津波の不安が改善した方を対象)

■緊急時の避難場所を東九州道沿線で確保！

■国道県道が通行止めになった際など、緊急車両派遣や物資輸送支援、避難場所の確保に寄与

【丸市尾地区】



【葛原地区】



【北浦IC付近】



東九州道への経路確認
延岡 避難用階段使い訓練

「悲願の道」
津波が押し寄せた瞬間、避難場所が確保できず、命を失ったという悲劇が繰り返されています。東九州道の開通により、緊急時に避難場所を確保し、命を守るための道が確保されます。

▲出典: 夕刊デイリー新聞(H25.1.30)

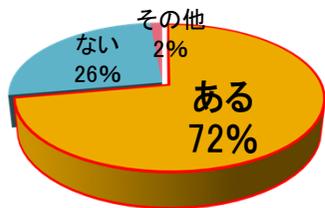
救急医療への支援

安静搬送が可能となり、**救急搬送患者の負担が軽減！**されます。

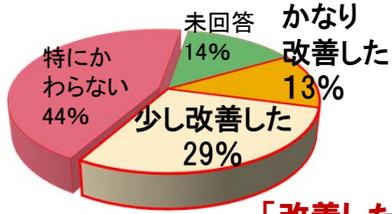
- 東九州道の開通により、**地域住民の救急医療への不安が改善**されました。
- 救急搬送時間が**16分短縮**し、**救急救命率の向上**が期待されます。（波当津地区～県立延岡病院）
- 救急搬送時に**東九州道を利用**することで一般道利用時よりも**横揺れが低減**し、**搬送患者の負担を大きく軽減**されます。

地域住民の救急医療への不安が改善

Q: 地域の救急医療サービスに不安がありますか？



Q: 東九州道の開通により、救急医療への不安は改善されましたか？



「改善した」が約4割！

▲住民アンケート調査結果（H25.8.14～30）

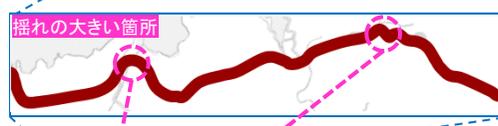
有効回答数：蒲江477世帯、北浦388世帯、北川167世帯

有効回答数：745世帯（地域の救急医療サービスに不安がある方を対象）

北浦地区などから県立延岡病院へ搬送する際にはカーブ区間が多かったため搬送時の負担が大きかったのですが、東九州道の開通により、**走行時の揺れが大幅に少なくなり、搬送患者の負担を大きく軽減**しています。



基準値0.15G※超過で救急搬送患者の容態に悪影響！

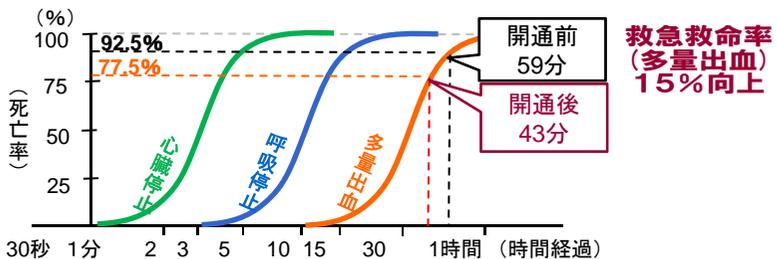


カーブ区間の横揺れを最大で約78%低減※し、搬送患者の負担を軽減しています！
 ※国道388号：最大0.18G → 0.78
 東九州道：最大0.04G ↓ 低減

【参考】救急搬送時間が短縮し、救急救命率が向上

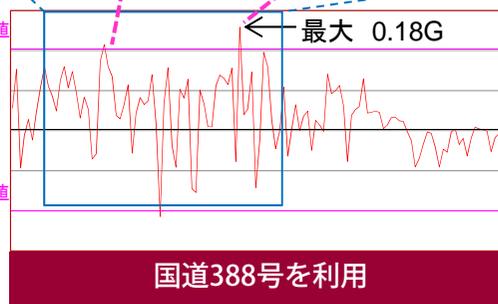
■アクセス時間が16分短縮※（開通前:59分、開通後:43分に時間短縮）し、救急救命率が15%向上

※波当津地区～県立延岡病院への搬送短縮時間



▲カーラーの救命救急曲線と搬送時間短縮効果

救急車の横揺れの大きさ



▲救急車プローブ調査結果(H25.8.9～8.26)

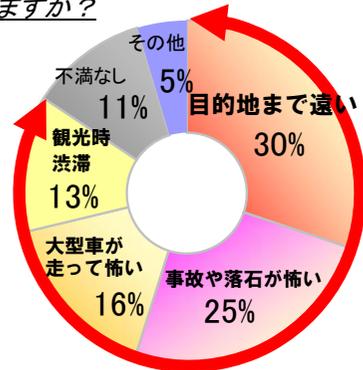
※「曲線走行時に掛かる横Gが0.15G以上となれば、最高血圧の変動量が10mmHgを超過し、搬送患者へ影響を与える可能性がある」

出典：地域の医療を支援する道路構造の分析・評価（第27回日本道路会議）

- 東九州道の開通前は、アンケート調査の約8割が道路に不満と回答していました。
- 開通後は、約7割の方が道路の不満が改善したと回答しており、主な改善理由は「目的地までの時間短縮」「事故や落石の不安が無くなった」となっており、時間短縮の効果や安心・安全の向上を実感されています。

■開通前は回答の約8割が道路に不満

Q:道路を利用するときに不満を感じていたことはありますか？

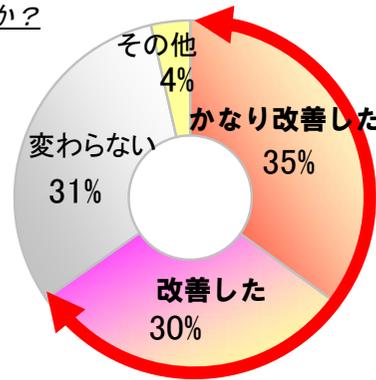


供用前は住民が道路に不満約8割！

▲住民アンケート調査結果(H25.8.14~8.30)
有効回答数:1,133世帯(複数回答可)

■開通により約7割方の不満が改善！

Q:東九州道の開通により、不満は改善されましたか？



不満が改善した方が約7割！

▲住民アンケート調査結果(H25.8.14~8.30)
有効回答数:840世帯(不満があった方を対象)

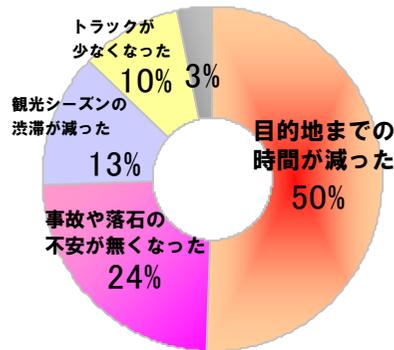
■利便性向上を実感された方の自由意見

- 延岡への通勤に疲れなくなった。とてもありがたいです。(延岡市北浦町 女性)
- 大分空港・大分市内までが便利になった。蒲江～佐伯間の開通でますます便利になることを期待しています。(佐伯市蒲江町 女性)
- 福岡、大分に行く時間が短縮された。全線開通すればもっと。(延岡市北浦町 女性)
- 宮崎、北方方面が便利になった。(延岡市北浦町 男性)
- 交通安全がかなり向上しました。(延岡市北浦町 男性)



具体的には…

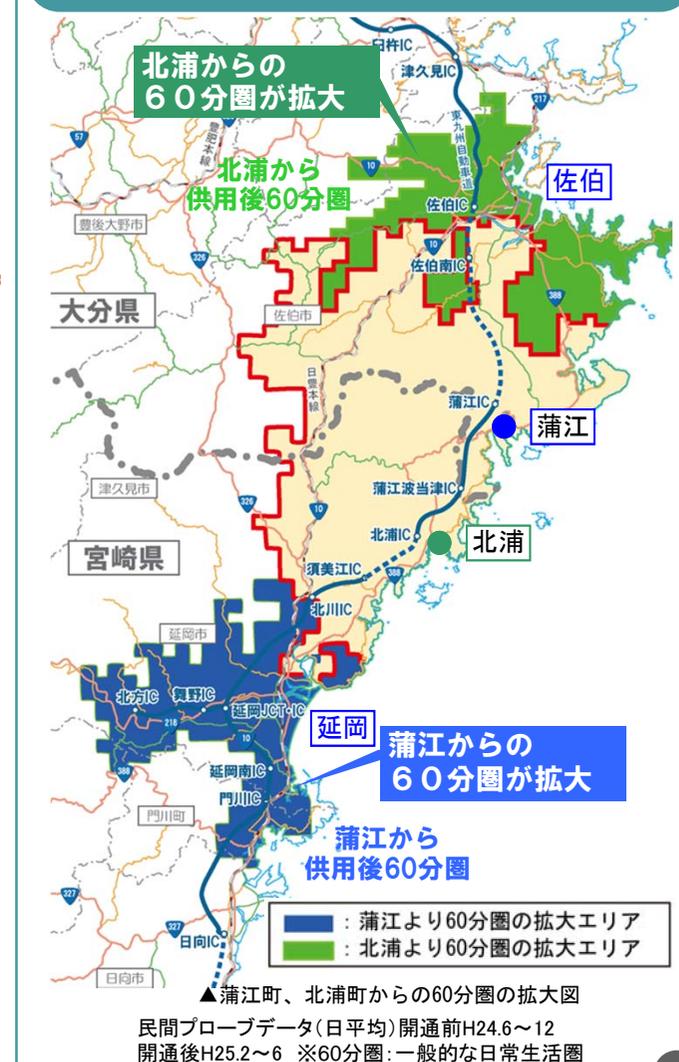
Q:どのような改善がみられましたか？



▲住民アンケート調査結果(H25.8.14~8.30)
有効回答数982世帯(複数回答可)

【参考】

日常生活の行動範囲が広がり便利に！



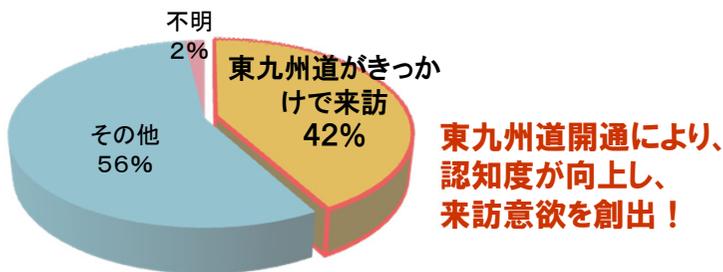
参考

① 東九州道開通が地域観光の振興に貢献しています。

- 👉 観光地として、佐伯市・延岡市の認知度が向上し、観光客の来訪意欲を創出しています。
- 👉 産（企業）・官（自治体）・民（地域）による、県境を超えた活動や連携が活性化しています。
- 👉 東九州道の延伸とともに、延岡市及び佐伯市の観光入込客数が増加しています。

■東九州道開通により観光地としての認知度向上！

Q:「佐伯・延岡」を来訪したきっかけは？



▲九州居住者WEBアンケート結果(H25.8) ※有効回答数6,237票

■佐伯・延岡に来訪された方の声

- ・観光地があることがわかり、開通後3度も来訪しました。 60代 女性
- ・陸の孤島である宮崎県に近くなり、大変うれしいです。 40代 男性

■東九州道開通をきっかけに、産・官・民の取り組みが活性化

産（企業） 新たな旅行プランが登場

- 旅行会社が東九州道を利用した旅行プランを続々企画
- 旅行誌が東九州道開通の記事を掲載（H25年2月号）



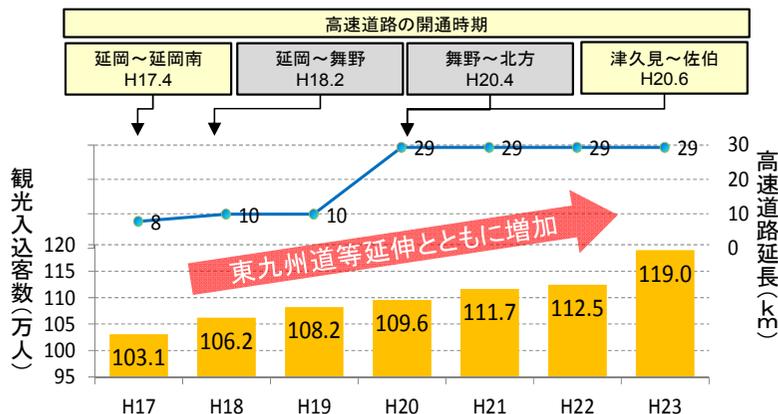
企画主体	概要
読売旅行	東九州道の開通に伴いツアーを新規に設定
JAF	HPIにて東九州道を使ったドライブルートを紹介
青島ランドホテル	「東九州自動車道・須美江ー延岡間が開通！」というPR
まぶる	「東九州自動車道が次々と開通して移動がスムーズに」の記事
宮崎交通	高速バス路線新規運行計画

民（地域） 観光客受け入れ体制を強化

■ 地域団体が観光活性化に向けた活動を展開

活動の名称	開通の影響
ひむか宮崎県北広域観光	【新規】 H24年12月(須美江IC~延岡JCT間開通)をきっかけに新たに活動を開始した取組み
ひむか日豊海岸観光推進協議会	
のべおかぐるコン	
蒲江IP(インターパーク)構想	
デジタルスタンプラリーの試行	【強化】 今後の高速道全線開通に向け、地域観光活性化を目的とした活動を活発化している取組み
東京ガールズコレクション 約40,000人参加	
東九州伊勢えび祭り 約4,000人参加	
えんぱく(延岡感動体験泊覧会)	
日豊海岸シーニックバイウェイ	
ノバスタ(延岡感動体験案内)	
上益城・高千穂・延岡・日向連携事業	
てっぺんトリ決定戦	
食の4大キャンペーン	
グリーンツーリズムの実施	
由布市との観光協会交流協定締結	
修学旅行の誘致	
観光キャラバン隊	

延岡市の観光入込客数が増加



▲延岡市の観光入込客数の推移 出典:延岡市提供

官（自治体） 情報ツールの相互活用へ

- 佐伯市と延岡市が「広域連携に関する基本協定」を締結（平成25年8月）
- 平成25年10月から、両市が持つ情報ツールを相互活用し、イベントや特産品を互いにPR



東九州道開通により、産・官・民の“県境を超えた”連携が活性化



② 高速道路を活かした**産業・物流拠点形成に大きく貢献！**しています。

- 佐伯市・延岡市の総合計画に基づく企業誘致や工業用地の造成促進に寄与しています。
- 開発整備された佐伯市・延岡市の4箇所の工業団地はいずれも、**近接JCT・ICまでの所要時間は10分以内**です。
- 東九州道延伸とともに、佐伯市・延岡市内の**企業立地件数が増加**しています。

■東九州道のICから10分以内の好立地により、地域の産業・物流拠点が形成！

- 佐伯市内を中心として、企業や商業施設立地が進展
- 延岡市内の高速道路インターに近い場所への工業用地の造成が進行



▲位置図



▲佐伯市の企業立地状況



▲延岡市の企業立地状況

■東九州道の延伸が佐伯市・延岡市のまちづくりを支援！

- 高速道路の開通が、企業者への立地意欲を誘引し、高速道路の開通を見据えた企業立地が進んでいる。

高速道路の開通により物流効率化のメリットがあり、**東九州道の開通を見据えて進出を決めました。**



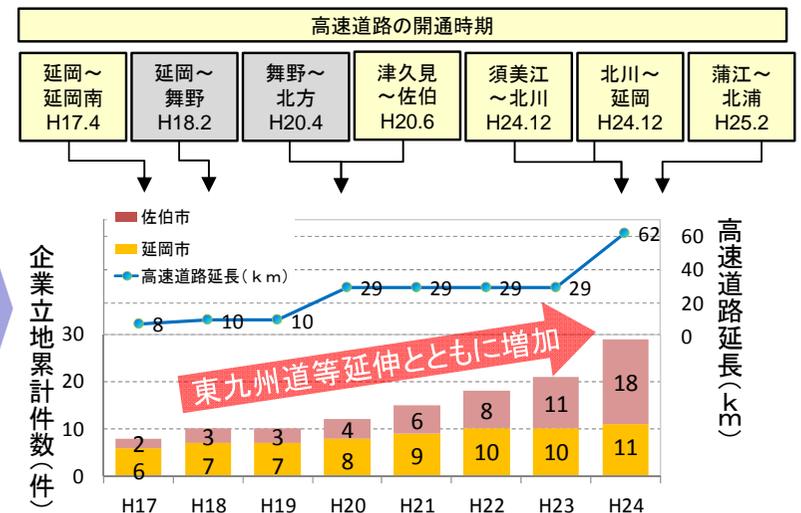
企業者

高速道路の開通が**企業進出意欲の刺激**になっており、**現在、立地の問合せが多くなっています。**



延岡市

東九州道の延伸とともに新規企業立地数が増加



▲佐伯市・延岡市の企業立地数(累計)の推移 (本社移転及び増設件数を含む)

出典:佐伯市・延岡市提供